

2021年6月18日

島根中央信用金庫(理事長 福間 均)は、6月18日に開催した総代会で、2021年3月期の決算案を下記の通り承認しました。

記

## 島根中央信用金庫 2020年度決算について

### 1. 2020年度決算の概要

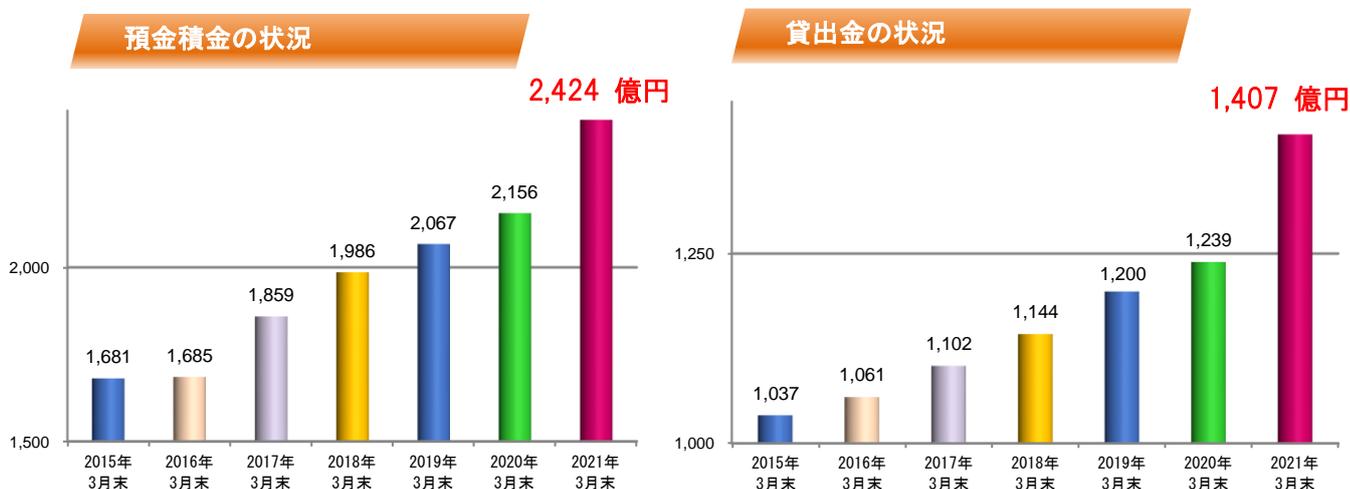
2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大により2度にわたって緊急事態宣言が発出される事態となり、東京オリンピックをはじめとした各種イベントの延期や中止など非常に多くの経済活動が停止した結果、景気は歴史的な落込みとなりました。

当地においては、新型コロナウイルス感染者数は全国的に見て少ないものの、人口減少や高齢化、企業の人手不足の深刻化など経済環境は引続き厳しい状況でした。

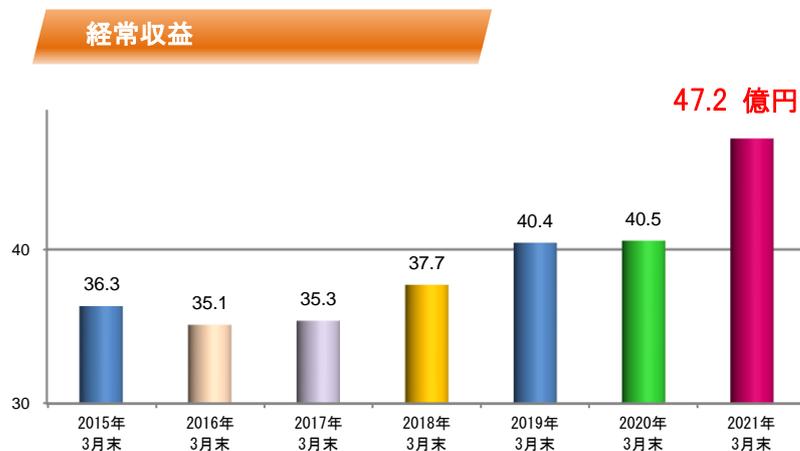
しかしながら、当金庫は第5次中期経営計画(2019年度～2022年度)のもと、役職員一同、地域シェアアップの取組み等を進めてきた結果、当金庫の期末預金残高は大幅に伸長し、5期連続増収、6期連続増益とすることができました。

本件に関するお問い合わせ先  
島根中央信用金庫 経営企画部 竹下  
0853-20-1000

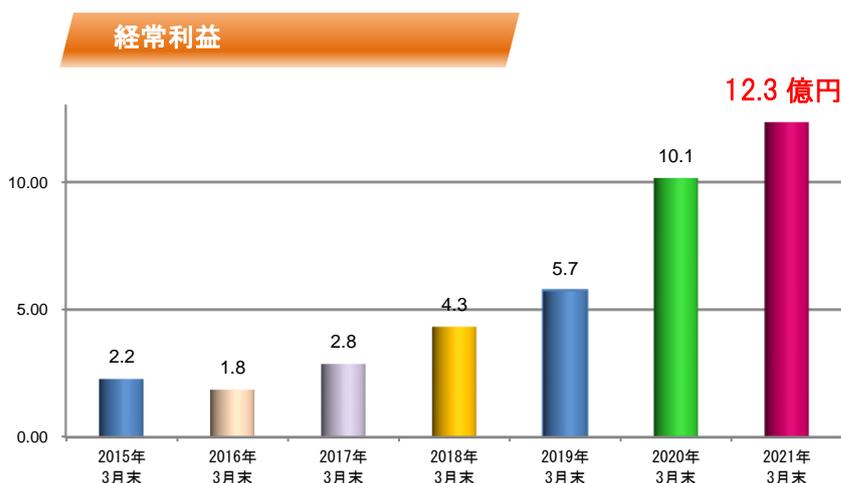
- ・ 期末の預金残高は前期比 12.4%増の 2,424 億円、貸出金残高は同 13.5%増の 1,407 億円となりました。
  - 預金残高は、特別金利定期預金を販売したことや定期積金を推進したこと、またコロナ持続化給付金の滞留や事業者が手元資金を確保する動きもあり 12.4%増加しました。
  - 貸出金残高についても、コロナ禍の影響を受けた事業者からの資金繰り相談に積極的に応じたことや、2段階固定金利住宅ローン「新・ぬくもり130」の推進、与信判断の迅速化に引き続き取り組んだことなどで 13.5%増加しました。



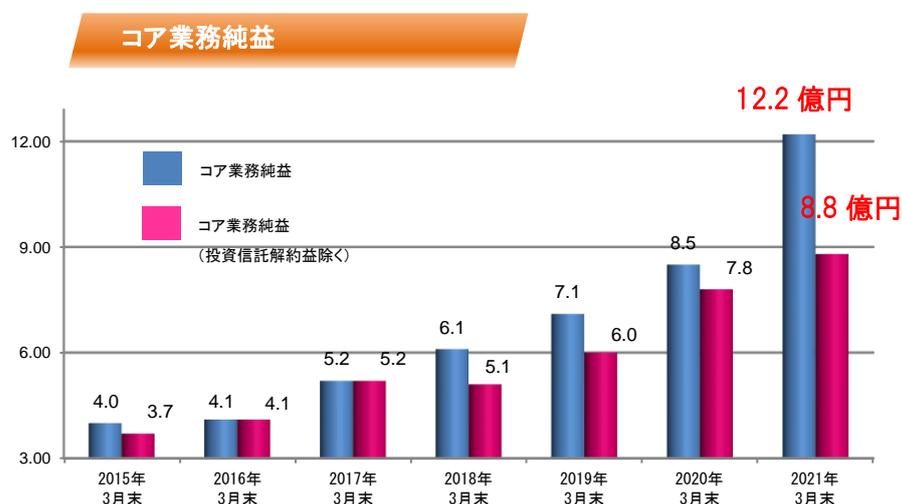
- ・ 売り上げにあたる経常収益は前期比 6 億 63 百万円増(16.3%増)の 47 億 20 百万円となり、5 期連続の増収となりました。



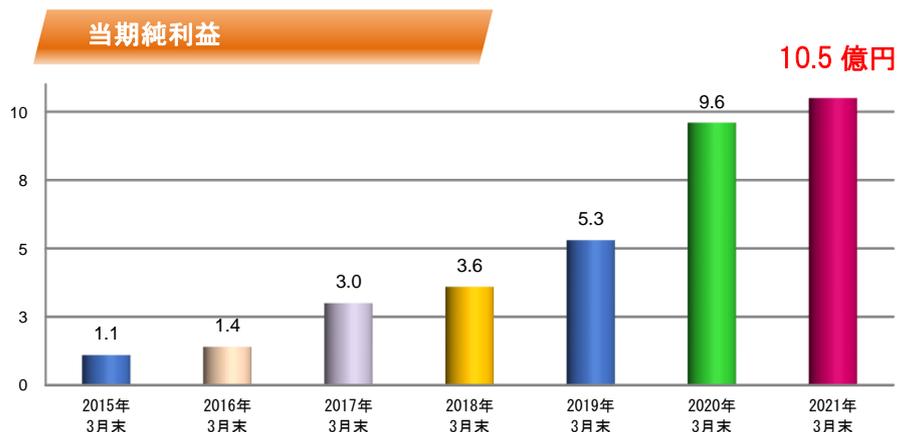
- ・ 経常利益は、資金運用収益の増加等により前期比 2 億 18 百万円増(21.5%増)の 12 億 35 百万円となりました。
  - 貸出金利息は、2 段階固定金利住宅ローン「新・ぬくもり 130」の増加や「新型コロナウイルス感染症対応資金」の増加等により前期比 8 百万円の増収となりました。
  - 有価証券利息は、計画的な銘柄入替えにより利回りが上昇したことや残高が増加したことから同 5 億 2 百万円の増収となりました。
  - 預金利息は、預金残高の増加により同 19 百万円増加しました。
  - 経費は、若手職員の採用増加による人件費の増加や、松江支店の新築移転・川本支店の旧JR駅舎への移転等による物件費の増加等により、同 87 百万円増加しました。
  - 信用コストは、一般貸倒引当金がランクダウン等により 51 百万円の繰入、個別貸倒引当金が大口与信先への予防的な引当金積み増し等により 1 億 66 百万円の繰入、その他 53 百万円により 2 億 71 百万円となりました。
  - 有価証券の売却等損益(債券 5 勘定、株式 3 勘定)は、年間損益通算で 2 億 32 百万円の売却益となりました。



- 本業での利益を表わすコア業務純益は前期比 3 億 72 百万円増(43.5%増)の 12 億 26 百万円となりました。

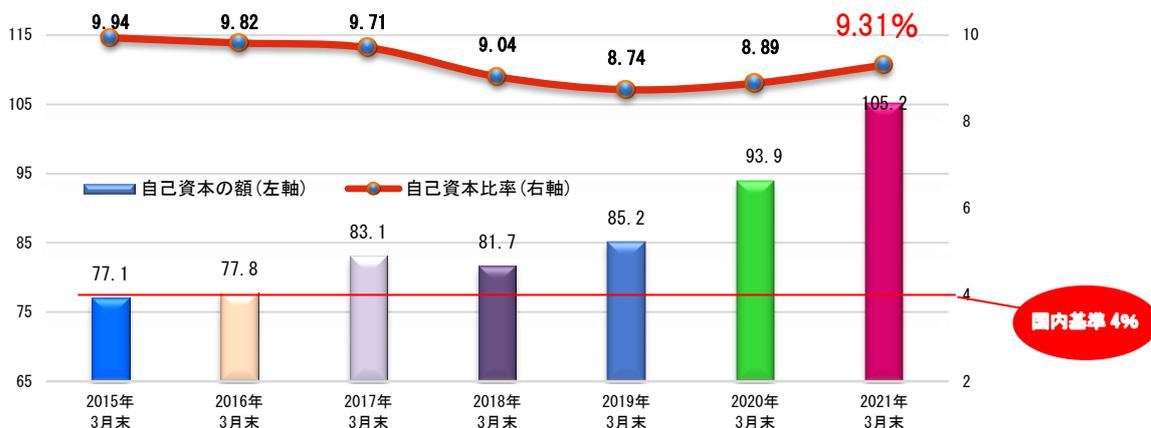


- 当期純利益は 95 百万円増(9.9%増)の 10 億 59 百万円となり、6 期連続の増益となりました。
  - 若手職員の採用増加による人件費の増加や店舗投資による物件費の増加を吸収した上で増益となりました。



- 経営の健全性を示す自己資本比率は、貸出金や有価証券の増加に伴うリスクアセット（分母）の増加を上回る自己資本（分子）の増加により前期比 0.42 ポイント上昇し 9.31%となりました。なお、国内基準 4%を大きく上回る水準を維持しており、健全性に問題ありません。

#### 自己資本、自己資本比率



- 不良債権比率は前期比 1.10 ポイント低下の 6.75%となりました。

— 当金庫は、地域に特に必要とされている企業に対しては引当を積んだ上で徹底的な支援をしており、また、コロナ禍で経営難に陥っている企業に対し積極的な資金繰り支援を実施していることから、不良債権比率は多少高めとなっております。

— 不良債権は高い保全率でカバーされており健全性に問題はありません。

#### 金融再生法による開示債権



(単位:百万円)

債権の区分	2021年3月末
金融再生法上の不良債権 (A)	9,646
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	665
危険債権	7,865
要管理債権	1,115
正常債権	133,174
合計 (B)	142,820
保全額 (C)	8,086
担保・保証等	6,821
貸倒引当金	1,264
保全率 (C)/(A)	83.83
不良債権比率 (A)/(B)	6.75%

### 2. 2021 年度計画について

今期(2021 年度)については、コロナ禍による悪影響を受けている事業者等に対する積極的な資金繰り支援や条件緩和等を実施し、信用リスクに対する備えとしての引当強化もすること、また引続き店舗の移転や改修工事を実施することから、当期純利益は 59.6%減の 4 億 27 百万円程度の保守的な見込みとしております。

### 3. 役員異動

2021 年通常総代会終結をもって理事 8 名、監事 3 名が任期満了となり、以下の通り改選されました。

#### 《理事》

理事長	福間 均	(再任)
専務理事	田中 敏行	(再任)
理事	島林 秀樹	(再任)
理事	山本 雅信	(再任)
理事	壺倉 浩平	(再任)
理事(非常勤)	遠藤 充子	(再任)
理事(非常勤)	福代 明正	(再任)
理事(非常勤)	田平 篤	(再任)

#### 《監事》

監事	永見 之伸	<u>(新任)</u>
監事(非常勤)	川上 眞次	(再任)
監事(非常勤)	福田 真也	(再任)

#### 《退任》

監事	原 雅彦
----	------

当金庫では、業況不振先やコロナウイルス感染症の拡大で影響を受けている先への積極的な資金供与や経営支援を強化推進していくなかで、引続き持続可能なビジネスモデルへの転換を進め、地元県央部唯一の信用金庫として協同組織金融機関の本質を理解していただけるお客様と長いリレーションを維持し、地域一番店として貢献していきたいと考えています。

以上

島根中央信用金庫 2021 年 3 月決算

本件に関するお問い合わせ先  
島根中央信用金庫 経営企画部 竹下  
0853-20-1000